

FLOOR MAP フロアマップ



①受付

1F受付カウンターでマイページに表示されるQRコードを提示し、入退館ください。ご利用時間は3時間です。



②書籍

起業のフェーズごとに分類された関連書籍を約1,500冊ご用意。ラウンジ内で自由にお読みいただけます。



③ラウンジ

電源・Wi-Fiを完備した、起業準備のためのスペースです。アイデアの構想や作業はもちろん、仲間とのディスカッションの場としてもご利用いただけます。



④イベント

起業に関するさまざまなイベントを、ほぼ毎日開催しています。最新のイベント情報は、公式Webページをご覧ください。



チラシラックコーナー

都内の起業支援に関するチラシを配架しています。

イベントカレンダー

直近開催されるイベントやおすすめ情報をご案内しています。

複合機(有料)

電源

2FとB1F

禁煙

Free Wi-Fi

⑤コンシェルジュ

起業相談

様々な分野に精通した起業経験のあるコンシェルジュが、起業に関する悩み、疑問にお答えします。事前予約制です。

平日: 10:00~21:00
(最終受付 20:00)
土日祝: 10:00~17:00
(最終受付 16:00)
※1回45分以内です



⑥プレストコーナー & 海外展開相談

ホワイトボード常設のこのコーナーはディスカッションに最適。「海外展開相談」もこのコーナーにて、週1回のペースで実施しています。



⑦コミュニティマネージャー

起業準備をサポートするコミュニティマネージャーが常駐しています。利用者それぞれに合った情報提供を行っています。お気軽にお声掛けください。



⑧キッズルーム

TOKYO創業ステーションのサービスご利用時にご活用いただける託児サービス。事前予約制です。



どんなイベントに参加したらいいか、どのコンシェルジュに相談したらいいかなど、みなさんの起業準備をサポートします！



起業のヒントに出会える場所。

Startup Hub Tokyo 丸の内

STARTUP HUB TOKYO
Vol.02 2026.6



INTERVIEW

特集

先輩起業家が歩んだ、Startup Hub Tokyo 丸の内 から始める起業ロードマップ

こんなシーンで利用されています！

“起業”に興味がある！



まずは情報収集

「起業を知る」ことから始めましょう。コミュニティマネージャーがあなたに合った施設の活用法をご案内します。

アイデアはあるけど不安！



コンシェルジュに相談

アイデアのブラッシュアップやビジネスモデルの構築は起業家の先輩たちに気軽に相談してみよう。

起業準備やプレストができる場所が欲しい！



ラウンジをフル活用

1日3時間。1人の集中作業や仲間とのミーティングにも利用できるラウンジには、参考になる起業関連の書籍が揃っています。

次のアクションのヒントを見つけたい！



イベントに参加してみる

起業に関するイベントをほぼ毎日開催。自分のペースで視聴できるオンライン、現地参加のワークショップなど、様々なテーマ、参加スタイルから選べます。

ACCESS アクセス



STARTUP HUB TOKYO

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
明治安田生命ビル低層棟1階
TOKYO創業ステーション 丸の内 Startup Hub Tokyo

TEL 03-6551-2470

開館時間 平日: 10:00~22:00 (最終受付 21:00)
土日祝: 10:00~18:00 (最終受付 17:00)

休館日 年末年始、ビル休業日、弊社指定休業日

Web

<https://startup-station.jp/m1/>

SNS

@startphubtokyo

Startup Hub Tokyo 丸の内の最新情報を随時配信しています。



280
古紙配合率80%再生紙を使用しています

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK

メンバー登録 3STEP

STEP.1 Webでメンバー登録

公式ホームページよりメンバー登録を行ってください。登録フォームに必要事項を入力の上送信すると仮登録が完了します。

ご登録はこちらから



STEP.2 本登録へのURLをクリック

登録メールアドレス宛に、本登録のご案内が届きます。記載されたURLをクリックすると、本登録が完了します。

※メールが届かない場合は、ご利用の携帯会社等へ直接お問い合わせください。



STEP.3 マイページが完成

これで施設利用の準備は完了！ログインしてサービスをご利用ください。マイページのQRで施設の入退館が可能です。



INTERVIEW

先輩起業家
インタビュー

たにぐち まさひろ
谷口 昌優 氏

先輩起業家 株式会社SlowFast 代表取締役

今回の先輩起業家は、「子ども靴のサブスク事業」を立ち上げた谷口さんです。「知識ゼロ」の状態からどのようにStartup Hub Tokyo(スタハブ)丸の内を活用し、理想のプランを実現していったのか。現在に至るまでのロードマップとその裏側にあった葛藤や挑戦についてお話を伺いました。

子ども靴のサブスク「Kutoon」▶ <https://kutoon.net/>

STEP.1 起業の動機と ビジョンを固める

社会にインパクトを与える事業をつくりたい

社会人9年目、コロナ禍の在宅勤務中に抱いた小さな疑問が原点。「サイズアウトした子供靴の廃棄をなくしたい」という想いから起業を決意した。実家が自営業という背景もあり、「起業してもなんとかなる」という持ち前のメンタルで32歳で退職。環境課題の解決に向け、未知の世界へ踏み出した。

STEP.2 情報収集 スタハブとの出会い 会社ってどう作るの？

株式会社、合同会社、法人、個人事業主の違いすら知らなかった当時、ネット検索でたどり着いたのがTOKYO創業ステーション。「東京駅の近くにこんな場所があるんだ」と、メンバー登録を行った。

STEP.3 コンシェルジュ起業相談

漠然としたアイデアからブラッシュアップ

「子ども靴のリユース」という構想でコンシェルジュ起業相談を予約。専門分野に強いコンシェルジュとの壁打ちを経て、2階の「Planning Port 丸の内*」へ。事業計画書などの資料をいっさい持たずに突撃しプランコンサルタントの厳しい視点に撃沈したが、それが本格的な準備の火付け役に。以来、スタハブ丸の内に毎週通い詰めて顧客視点のプランを練り上げた。

*TOKYO創業ステーション 丸の内の2階にある、本格的な起業準備・ビジネスプラン策定を支援する専用スペース

STEP.4 事業計画と資金調達

計画と現実のズレ。助成金に助けられた

のべ60人へのテストマーケティングを実施し好反応だったが、サービス開始後は予想のようには「売れない」現実と直面。苦境の中磨き上げた事業計画書を武器に公庫からの融資を獲得。助成金も活用し、キャッシュが回るまで改善を繰り返した。

STEP.5 会社設立・事業継続

自己満足で終わらせない

創業5年。環境省や自治体、企業とも連携し、子ども靴の回収ボックスを通じた資源循環の輪が拡大。「靴は次につなげるもの」という意識の定着を目指し、社会貢献と事業成長の両立に挑戦している。

谷口さん
登壇のイベント
レポートは
こちら



2026

5年目

今年はユーザー拡大！
さらなる事業成長へ

2021

創業

ゼロからのスタート

先輩起業家が歩んだ

Startup Hub Tokyo

丸の内からはじめる 起業ロードマップ

1年目
計画と
現実のズレ

2年目
売上向上。
泥臭くキャッシュを
稼ぐ

3年目
多忙によるリソース
不足。運営の壁

4年目
子ども靴回収サービスに
全集中。自治体連携も加速

敷居が低く「まずは相談」と思えたのが最初の一步です。集中したい時は「ラウンジ」を活用し、メルマガやイベントでの情報収集・学びに加え、23区の自治体の創業支援情報も効率的に得られたのが大きな助けになりました。



東武鉄道さんとのコラボ靴も、「靴は捨てるものじゃなくて次につなげるもの」という資源循環を広く知ってもらうための挑戦です。全国のご家族の意識と行動を変えていきたい。社会貢献を自己満足で終わらせず、持続可能な事業として成長させることが今の大きな目標です。



PICKUP EVENT

注目のイベント



どんなイベント？

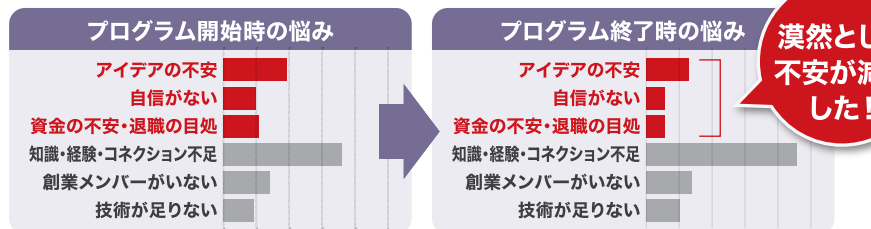
「起業のアイデアを具体化、言語化できていない方」や「プログラムを通じて起業のアイデア見つけてカタチにする方法を身につけたい方」など、起業準備を始めた方、起業に興味のある方を対象にした起業アイデア発見プログラムです。



起業アイデア発見プログラム「marunouchi DREAM CANVAS」とは？

モヤモヤを解消。自信をつけて前進！

「アイデアの不安」「自信がない」「資金や退職の現実的な壁」といった漠然とした不安が減少。一方で、コネクションや知識への悩みの増加は「何をすべきか決まったことで、必要なリソースがより鮮明になった」という、起業家としてのスタートラインに立った証と言えそう。



漠然とした
不安が減少
した！



起業支援のプロたちが全力でサポート！

あなたも「marunouchi DREAM CANVAS」に参加して、起業への一歩を踏み出してみませんか？第2期生の募集は2026年5～6月を予定しています。公式SNSでも告知しますのでぜひチェックしてくださいね！

スタハブ公式SNS @startuphubtokyo

教えて！コンシェルジュ

Q. 頭の中にある起業のアイデア、人に伝わる「カタチ」にする方法は？ A. まずは「アイデアブラッシュアップシート」を埋めてみることから始めましょう

コンシェルジュ 宇津木 聡子

7つの項目に沿って書き出すことで、起業アイデアを客観的に整理できる「ブラッシュアップシート」。より伝わるプランへと磨き上げるためのポイントをコンシェルジュに聞きました。

書き出すことで、何がわかりますか？

頭の中のアイデアは明確なつもりでも、実は言語化できていないことが多いもの。書き出すことで明確な点とあいまいな点が客観的に見えてきます。このプロセスが、事業を正しく伝えるための土台となります。

項目の「つながり(整合性)」で見えるべき点は？

各要素が整合性を持って整理されているかを確認します。特に、自分視点の想いが顧客にとっての「価値」に落とし込まれているかが重要です。顧客視点で表現できているかを見極め、アイデアのズレを整えていきます。

相談の現場では、どう活用しますか？

事業の本質は「誰に・何を・どのように提供するか」です。相談では特に「顧客」と「提供価値」が明確かを軸に検討します。利用シーンが具体的に思い浮かぶレベルまで、アイデアを一緒に深めていきます。

シートを使って
アイデアを
整理しよう！



INFORMATION

お知らせ

「日替わり起業クイズ」を実施中！

起業の必須知識や用語をサッと学べる「一問クイズ」。基礎から少し踏み込んだ問いまで、知っているつもりで意外と答えられないクイズにお手軽に挑戦いただけます。

このPOPが目印。
隙間時間の学びにぜひ
ご活用ください！

ラウンジでQRを
探してみてくださいね！



広報誌限定！
起業クイズ
に挑戦



OUR STAFF

スタッフ紹介



コミュニティマネージャー
坂井 博

コミュニティマネージャー

コミュマネ が「起業のヒントが見つかるイベント」を企画しています

＜主な担当イベント＞

「U25交流会」など
若者向けイベント

東京都出身。映像・空間演出の制作を経て「サポートする側」にやりがいを感じて現職へ。「こんなイベントが欲しかった」という声が喜びです。ここは起業のヒントが詰まった施設です。ぜひ気軽にコミュマネと雑談しに来てください！



コミュニティマネージャー
竹村 朝海

＜主な担当イベント＞

「女性プチ起業スクエア」など
女性向けイベント

岐阜県出身。テレビ制作や新規事業を経て、両方の経験を活かすべく現職へ。「イベントがためになった」と言ってもらえる瞬間にやりがいを感じます。アイデアがぼんやりしていても大丈夫。話すことで整理されるので、まずはコミュマネと気軽に話してみよう！

Startup Hub
Tokyo
Magazine



配信中！